

廃線探索①天理軽便鉄道線路跡を辿る

平成31年2月5日(火) 10時

14K

法隆寺駅—新法隆寺駅跡—A地点—B地点—C地点—
D地点—E地点—木戸池遺構—善照寺—広峰神社—大
和安塔駅跡—F地点—飽波神社—歴史民俗資料館—安
塔町役場—G地点—額田部駅跡—H地点—平端駅跡—
ファミリー公園—近鉄二階堂駅—近鉄前栽駅—天理駅

新規会員・スタッフ募集中

ウォーキングマナー五ヶ条

1. やあ!おはよう 明るい挨拶 さわやかに
2. 信号で あわてず あせらず 待つ余裕
3. 広がるな 参加者だけの 道じゃない
4. 自分のゴミ 自分の責任 持ち帰り
5. 歩かせて いただく土地に 感謝して



期日	タイトル	集合駅	距離
2/19(火) 10:00	腰折りは絶命した 當麻の蹶速のゆかりの地	JR香芝駅	11K
3/12(火) 10:00	大阪城の刻印石と 三つの謎を探る	JR玉造駅	12K
3/19(火) 10:00	佐伯今毛人建立の 佐伯院跡探索	JR奈良駅	10K

天理軽便鉄道



種類 株式会社
本社所在地 ● 日本
奈良県山辺郡丹波市町
設立 1914年(大正3年)11月
業種 鉄軌道業
代表者 社長 稲葉弥吉
資本金 244,500円(払込高)

SWC 桜井ウォーキングクラブ

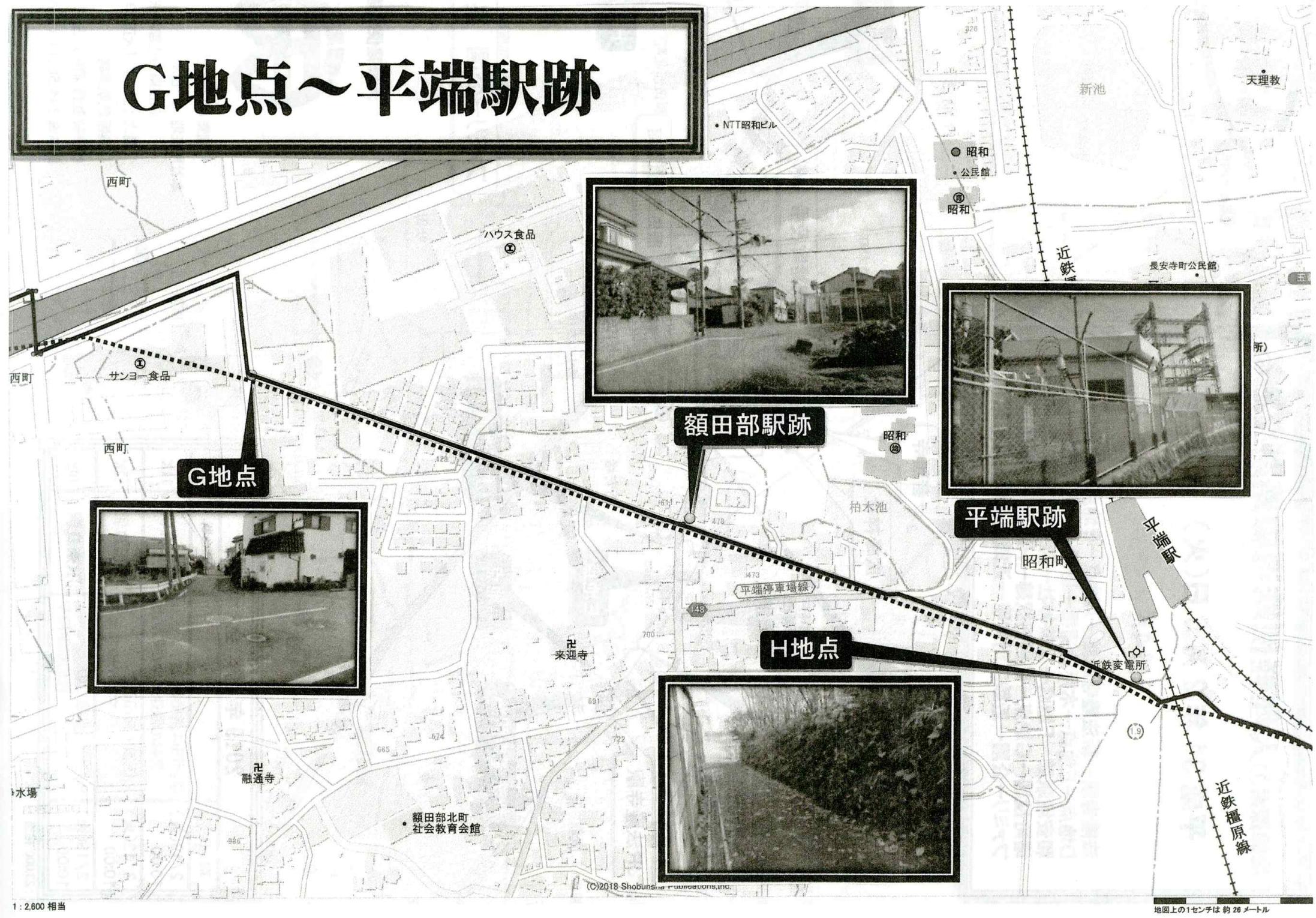
〒633-0007 奈良県桜井市外山1244-5.1245-1 TEL・FAX 0744-43-7673
URL <http://sakuraiwalk.jimdo.com/> 緊急連絡先 090-7116-7936

- ※ 例会歩行中に起きましたケガ等の補償につきましては、当クラブが加入しております傷害保険の範囲内とさせていただきます。
- ※ 気象警報発令時、もしくは、例会開始時において歩行することが危険と判断した場合、例会を中止することがあります。
- ※ コースおよびキロ数は、予告なしで変更することがあります。

法隆寺駅～安堵町役場



G地点～平端駅跡



天理軽便鉄道について

1) 時代背景

軽便(けいべん)鉄道とは…「軽便鉄道法」により建設された鉄道。1906年(明治40年)の鉄道国有化法により官私鉄道の比率が逆転。残された私鉄に対しては私設鉄道法によって監督が行われていたが、大私鉄中心のためであり、小私鉄の実態に合わせた法律の制定に迫られていた。これに対応して1909年(明治43年)年軽便鉄道法が制定され、大幅な条件緩和や補助金もできるとなり全国的に軽便鉄道建設ブームが起こった。奈良県でもこの軽便鉄道法に基づいて建設された鉄道が5つあり、長谷軌道、吉野軽便鉄道、天理軽便鉄道、大和鉄道、生駒鋼索鉄道などであった。



2) 天理軽便鉄道の概要

1911年(明治45年)の春から天理教では大正普請と呼ばれた本部神殿や教祖殿などの建築がはじまり、信者たちがその勤労作業のため天理教本部に向かうようになった。大阪湊町から奈良経由で丹波市駅(天理駅)の行程に対して、法隆寺で下車して徒歩で天理に向かう人も多かった。このような天理教信者の旅客輸送を見込み1915年(大正4年)2月法隆寺から天理へ直行する鉄道として天理軽便鉄道が開通した。

コース 新法隆寺駅—(安堵)—額田部—(平端)—二階堂—前栽—天理
安堵駅は大正5年、平端駅は大正11年に開設

距離 9km 軌道幅 76.2cm

運行状況 所用時間 34分

1時間おきに 1日13往復 天理教大祭時など 15往復

(天理まで大阪湊町から法隆寺乗り換えで1時間40分から2時間)

車両 最も多いときで機関車3両、客車10両、貨車10両を所有

乗車人員 大正4年 約12万人 大正7年 約30万人

経営状況 小鉄道のため発展の余地がなく、また新法隆寺駅の乗車人員と降車人員に大きな差があり、往路は天理軽便鉄道を使い、復路は丹波市駅(天理)駅より奈良まで行き、関西本線で湊町または大阪電気軌道により大阪上本町駅に行ったようである。このため経営は苦しく政府補助金を受けながら営業を続けた。

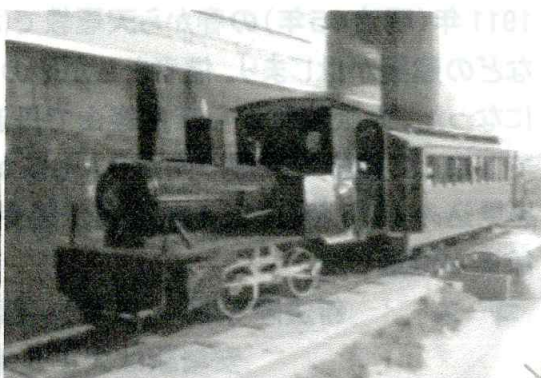
大阪電気軌道は1914年(大正3年)4月に上本町—奈良間が開通、西大寺から南進し橿原神宮に至る畝傍線が1922年(大正11年)に平端まで開通し、1923年には橿原神宮まで開通した。畝傍線施設許可には天理軽便鉄道を買収することが条件にあり、両者の話し合いで1920年(大正9年)12月をもって事業譲渡をされた。

その後の経緯

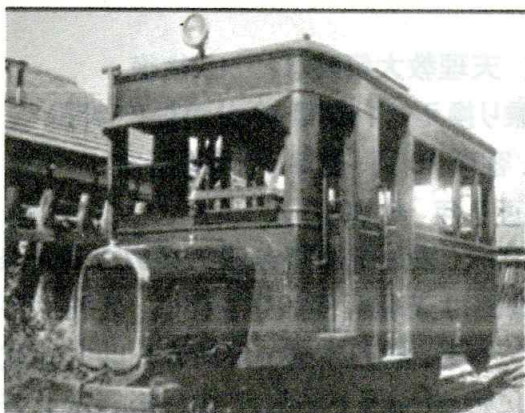
- 1921年(大正10年) 大軌電車になる。
- 1922年(大正11年) 天理線と法隆寺線を分離 平端駅新設
天理線(天理—平端間は電化し軌道幅を143.5cmに拡幅)
平端—法隆寺間4.4km(大軌法隆寺線)は昭和3年から30人乗り半鋼製の軌道自動車(ガソリンカー)がこの線の主役になる。
- 1945年(昭和20年) 決戦用金属回収令により平端—新法隆寺運転中止となる。
- 1952年(昭和27年) 営業停止。平端—新法隆寺廃止。平端天理間は近鉄天理線。



新法隆寺駅



開通当時の車両(模型)



ガソリンカー



天理駅